

(2) 地区訪問

- 第3回：島田地区、9月8日（土）20:00～21:00、大人のキャンプ
- 第4回：沼駿地区、9月11日（火）団委員長集会
- 第5回：伊東地区、10月10日（水）ラウンドテーブル
- 第6回：清水地区、10月16日（火）地区役員会
- 第7回：三島地区、11月7日（水）ラウンドテーブル
- 第8回：浜松地区、11月14日（水）地区リーダー会
- 第9回：富士宮地区、11月17日（土）ラウンドテーブル
- 第10回：静岡地区、11月20日（火）地区協議会

(3) 第2回全国県連盟コミッショナー会議

- ① 日時：10月20日（土）～21日（日）
- ② 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

(4) 第4回地区コミッショナー会議

- ① 日時：10月27日（土）10:00～16:00
- ② 場所：静岡県青少年会館
- ③ テーマ：(BS部門) 『インサービスサポートに活かす事例研究』  
(VS部門) 『少人数隊におけるVS活動どうしよう・・・』

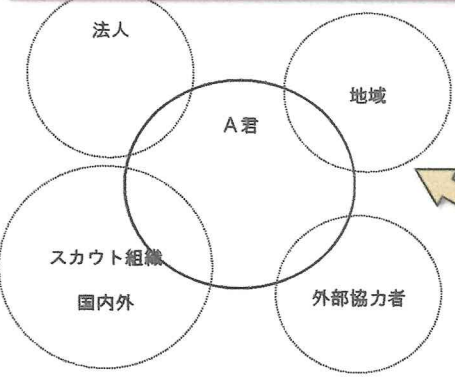
(5) 第4回県連盟正副コミッショナー会議

- ① 日時：11月10日（土）10:00～12:00
- ② 場所：静岡県青少年会館

以上

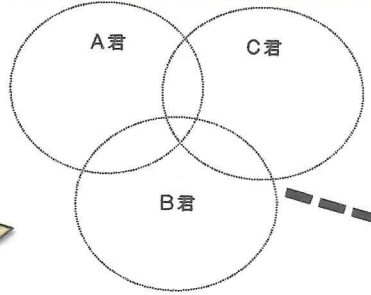
班制度は唯一無二の要素である理由 / チームシステム（小グループによる活動）

RSは自ら掲げた課題に対して「外への働きかけ」を行うことを体験する

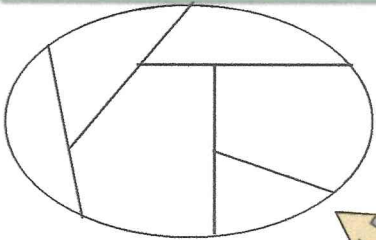


※段階的に個としての自立することを実践する  
 パトロールシステムは、スカウト訓練が他のあらゆる組織の訓練とは異なる唯一の、そして不可欠な特徴である。  
 (Aid to Scoutmastership / 隊長の手引き新訳版より)

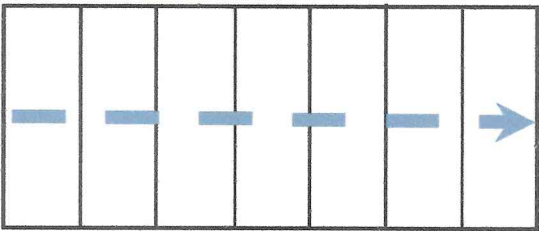
V Sは自ら掲げた課題を「持ち寄り協力」して行うことを体験する



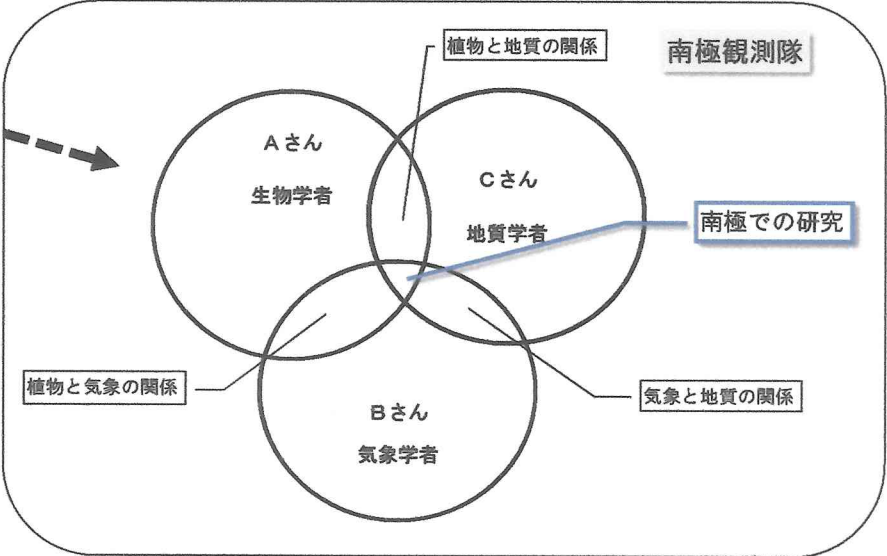
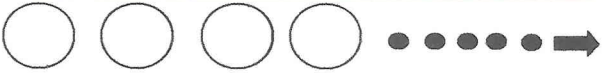
BSは与えられた課題を「分担しチームワーク」で行うことを体験する



CSは与えられた課題を「一緒に協同」して行うことを体験する



BVSは一つ一つのプログラムを一緒に体験する。



南極観測隊は南極での研究或いは生活、極端に言えば「南極に行く」という部分だけで結びついているだけである。しかし、図のように重なり合う部分での協力（プロジェクト）を持っている。ベンチャーで言うところの「グループプロジェクト」の結びつきにたとえることができる。

地区ビーバースカウト隊または合同隊におけるプログラムプロセスの一例

項目	内容（HBに示されている事項）	地区または合同隊	各団
年間計画会議 ↓	多くの人のアイデアを出し合い整理して年間プログラムを作成する。 タイトルの検討や木の葉章科目の配分、団や地区の行事などを行う。	各団の年間プログラムの調整を行い、地区または合同隊での行事を企画する。	年間プログラムを作成する。
プログラム会議 ↓	隊集会実施計画書を作成する。 役割分担、資材準備、家庭への連絡など細部にわたって計画する。	地区または合同隊での行事実施計画書を作成する。	隊集会実施計画書を作成する。
隊指導者集会 ↓	アクティビティーの研究、個々のスカウトの支援方法、指導者間の情報交換などを行う。 その他、会計や備品管理などの確認なども行う。	アクティビティーの研究、知識や技能の習得、指導者間の情報交換などを行う。	アクティビティーの研究、個々のスカウトの支援方法、指導者間の情報交換などを行う。 その他、会計や備品管理などの確認なども行う。
隊集会 ↓	計画に基づいて実施する。 柔軟な対応に心がける。	計画に基づいて実施する。 柔軟な対応に心がける。	計画に基づいて実施する。 柔軟な対応に心がける。
評価・反省 ↓	次回の集会につなげる。	次回の集会につなげる。	次回の集会につなげる。

プログラム会議に戻る

地区カブスカウト隊または合同隊におけるプログラムプロセスの一例

項目	内容（HBに示されている事項）	地区または合同隊	各団
年間計画会議 ↓	1年間の活動概要（大まかなこと）を企画する 月々のテーマ決定⇒活動目標⇒活動概要⇒進歩 課目を組み入れる。	各団から意見を集約・整理し、年間プログ ラムを作成する。	進歩の状況、活動ニーズをまとめ、年間 予定を作成する。
プログラム 委員会 ↓	1つのテーマに対してのヒント・アイデア出し プログラムに活用するための資料集め。 リーダー集会で説明や資料提示を行う。 集会の実施において協力する。	リーダー集会において、年間プログラムの 内容に応じた資料の提示、説明を行う。	各団で年間予定を立案する際の詳細を つめる。
リーダー集會 ↓	隊集會・組集會・デンコーチ集會・組長集會の 企画。 ・進歩を組み入れる。・デンリーダーの指導。 隊集會・組集會の計画。 ・DL⇒組集會実施計画書 ・隊長⇒隊集會実施計画書	隊集會・組集會・デンコーチ集會・組長集 會の企画を行う。 地区または合同隊が実施する隊集會実施 計画書の作成。 各団が実施する組集會計画書の作成	地区および合同隊におけるリーダー集 會を受けてデンリーダー集會を開催し、 各団が実施する組集會実施計画書の作 成を行う。 ※デンリーダーの養成が不可欠
デンコーチ 集會 ↓	隊・組集會の内容を伝え、分担する内容を決め る。技能の練習を行う。		隊・組集會の内容を伝え、分担する内容 を決める。技能の練習を行う。
組長集會 ↓	組集會の計画事項を伝え、分担する内容を決め る。技能の練習を行う。	組集會の計画事項を伝え、分担する内容を 決める。技能の練習を行う。	
組集會 ↓	隊集會の準備。		隊集會の準備。
隊集會 ↓	組活動の発表の場。	組活動の発表の場。	

リーダー集會に戻る

地区ボーイスカウト隊または合同隊におけるプログラムプロセスの一例

項目	内容（HBに示されている事項）	地区または合同隊	各団
年間プログラム	隊での一年間の活動目標、進級目標、キャンプ・ハイキングなどの集会の予定などが書かれています。	各団から意見を集約・整理し、年間プログラムを作成する。	進歩の状況、活動ニーズをまとめ、年間予定を作成する。
月間プログラム	隊での月間に実施されるプログラム、隊活動、班活動などについて書かれています。	地区または合同隊における班長会議、班長訓練、隊集会の予定を決める。	

班会議 ↓	どんなプログラムにしていきたいか、年間プログラムを見ながら要望をまとめる。		年間プログラムを見て、どんなプログラムを実施したいか要望をまとめる。まとめる際にスカウト一人一人の進歩が反映するようにする。
班長会議 ↓	各班長が班での希望をもって集まります。隊集会のプログラムを考えて組み立てます。月の中で開催される班集会の大きな内容を班ごとに調整します。班長は班員の進歩がプログラムに反映するよう、考えながら作成します。	各団（班）の要望をもって集まり、隊集会プログラムを組み立てる。 各団（班）で実施する内容を調整する。班長は班員の進歩が反映するように考えて作成する。	
班長訓練 ↓	班集会運営に必要な技能、ソング、ゲームなどを学びます。	各団（班）の運営に必要な技能を学ぶ。	
班集会 ↓	自分たちで計画した集会では隊集会に必要な技能について、訓練したり、ゲームをします。		班長訓練で学んだ技能について訓練する。
隊集会 ↓	班でやってきた成果を発揮します。他の班にも学ぶことがあります。	各団（班）でやってきた成果を発揮する。 他の団（班）からも学ぶ	
班長会議 ↓	隊集会の評価について短くまとめて、次の活動の準備をします。	各団の班長が集まり、隊集会の評価をまとめ、次の活動準備を行う。	

班会議に戻る